



年頭の「あいち」

躍動の年に

名寄市長 島多慶志

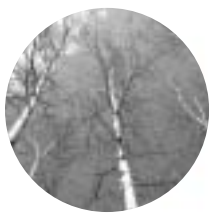


あけましておめでとーございます。

百年に一度と言われた世界同時不況の中で、日本列島は激動の一年が過ぎました。国は、平成二十年度に二度の補正予算を、平成二十一年度も大型の補正予算を組み財政出動による経済対策、地域経済活性化の各種支援策を打ち出し、各地方自治体は英知をしぼり地域経済の振興に取りくみました。事業も複数年につながる内容も認められ活性化の評価が高い事業も、八月に実施された総選挙で政権交代となり、一部見直しなど方向転換となりました。

開拓の歴史の浅い北・北海道に何を期待して国の施策が展開されるのかマラエストからは読みとれません。地方主権の社会を目指す政権として期待をしています。昨年は、名寄盆地に先人が入植して一一〇年の歴史の節目の年でありました。春先の遅霜、夏以降の低温、多雨が農作物の生育に障害となり秋の収穫は一年の努力が報われない年となりました。秋の収穫作業の遅れに「援農」も行われました。自然を相手にする農業の厳しさが地域経済にも大きく影響した一年となりました。

風連地区の開拓一〇〇年記念で、小学校入学児童の手形を残す事業は十年間で四一〇名となり、手形の展示場所について関係者で協議をすすめ新設の「地域交流センター」風つ子ホール」の前庭外構部に決定しました。この十年間に入学された皆さ



平成21年の軌跡

- 3・18 定額給付金の申請受付が始まる
- 3・27 中央保育所で閉所式、39年の歴史に幕
- 4・9 名寄産業高校開校式、名寄光凌高校と名寄農業高校が地域産業担い手育成のため新たなスタート
- 6・1 戸籍が電算化、戸籍総合システム稼働開始
- 6・20 東京都杉並区との交流自治体協定が締結20周年
- 6・30 最北の駅弁、(有)角館商会在99年の歴史を閉じる
- 7・23 九度山がアイヌ文化の名勝として国の文化財に
- 8・29 名寄・リンゼイ姉妹都市提携40周年で記念式典
- 8・30 第45回衆議院議員選挙の結果民主党政権が誕生
- 9・ 新型インフルエンザが猛威、休校・学級閉鎖相次ぐ
- 9・30 今春開館のなよろ市立天文台、愛称「きたすばる」に決定。風連地区地域交流センターは「風っ子ホール」に決まる
- 10・7 道北地域でのドクターヘリ運行が始まる
- 10・9 サンプルダム建設工事の凍結、国土交通省が発表
- 11・9 てんさいなどの収穫で昭和58年以来となる「援農」

今年も市民の皆様が元気で活躍されますことを祈念し、年頭のご挨拶といたします。

今年が自分の手形を見て学校や友人、ご家族を想い故郷を愛する人間としての成長を期待します。

今年、国道四〇号名寄バイパスが全ルート供用開始となります。風連本町地区再開発事業の地域交流センター、JA道北なよろ本所、名寄市立天文台のオープン秋には名寄東小学校の屋内体育館が建築されます。長い時間をかけ事業をすすめて来た関係者のご苦労に敬意と感謝を申し上げます。

安全で安心して生活できるまちづくりはハード面、ソフト面のバランスの取れた事業がこれからも必要です。

